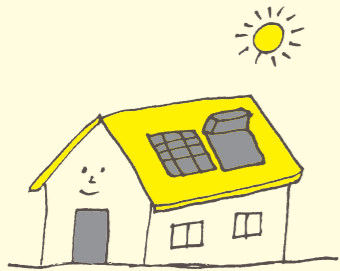


災害が起こって、
ライフラインが
使えない時でも…

● 太陽光発電、太陽熱温水器



・ 停電時、日が照れば、1時間あたり1500Wの電気が使えます。
・ 断水時、冬でも8時間日が照れば、1日分はお風呂に入れます。(標準で200ℓ)

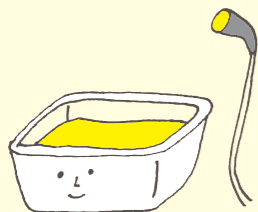
※現在は、集熱器とお湯を貯める部分が完全分離しているタイプの機器もあります。

● 雨水タンク、雨水浸透ます



・ 大雨の時、下水道に流れる水を減らすことができます。断水時、トイレに流す水に使えます。
・ 河川や道路への雨水流出を抑え、浸水や洪水を軽減します。地下水かん養にも役立ちます。

● お風呂の残り湯



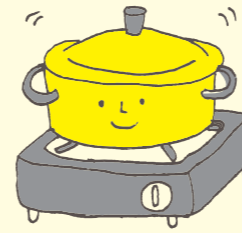
断水した時、洗い物や、トイレの流し水に使えます。

● ソーラーライト・ランタン



昼間、太陽光で充電し、夜のライトに使用できます。(停電の時のために、手回し充電機能がついているもの)

● カセットコンロで炊飯



炊飯器ではなく、お鍋と直火でご飯を炊いてみましょう。火で炊いたご飯の美味しさにビックリします。

● 防災食品を試食



味や調理法もいろいろあります。食べ比べて、家庭に合わせたものを備えましょう。

● ソーラーライトで夕食



いつもと違う雰囲気でご飯と会話を楽しめます。

● 電気自動車



停電時、電気をとることができません。(車種によって、容量・方法が異なります)

● 洗面器数杯で体を洗う



水が十分に使えないこともあります。家庭内で誰が一番少ない量で洗えるか、チャレンジしてみるのも1つです。

災害に
備える暮らし

災害コラム

災害はいつどこで起こるか分かりません。東日本大震災の被災地では、未だに不便な暮らしを余儀なくされている方もいます。また地震以外にも異常気象による災害も年々増加しています。便利な日常生活を少しだけお休みして、不便な非日常生活を体験しておくことが、本当の意味での備えになるのです。